

雲の上のまち



た報

ゆすはら

祝 二十歳おめでとう



令和5年栲原町二十歳を祝う集い(令和5年1月3日)

令和5年 二十歳を祝う集い <P2~3>

「ゆすはらジビエの里」によるジビエ学習 <P4>

栲原町老人クラブ連合会優良老人クラブ表彰 受賞 <P5>

西村俊二氏 高知県スポーツ推進委員功労者表彰受賞<P5>

生活援助従事者研修を開催 <P8>

ゆすはら地域おこし協力隊「山の暮らしを満喫！」 <P18>

...

etc...

2023
〈令和5年〉
No.776
2月号

●世帯数/1,719 (12月末)
1,717 (1月末)
●人口/3,236 (12月末)
3,228 (1月末)
○出生... 0 ○死亡... 7
○転入等... 7 ○転出等... 8

祝 令和五年 二十歳を祝う集い

1月3日(火)、ゆすはら・夢・未来館で二十歳を祝う集いを行い、平成14年4月2日から平成15年4月1日に生まれた31名が二十歳を迎え、うち19名が出席しました。

正午から行われた式典では、矢野教育長より二十歳を迎えられた出席者の一人ひとりの名前が読み上げられた後、吉田町長の式辞、来賓を代表して市川議会議長から祝辞が贈られました。その後、吉田町長から出席者代表の山下碧海さんに、記念品が手渡されました。次に、出席者を代表して中越透哉さんが、「20年前、私はここ梶原町で生まれました。自然に囲まれたこの土地で、様々な発見や経験をここまでするまで成長することができました。時には厳しく教導いてくれた両親や先生たちには本当に感謝しています。今日から晴れて大人の仲間入りをしますが、まだまだ未熟な私達です。どうかこれからも温かい目でご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し

上げます」と謝辞を述べました。第2部では、NPO法人結人の袖副理事長上田真弓さんより、「自分にフアイト!!」と出合ったあなたにありがとう」と題し講演いただきました。二十歳を迎えられた皆さんへの応援となった講演になりました。

また、会場に直接来ていただきました中学校3年時担任の柴岡理恵先生から、熱いスピーチをしていただきました。

また、小学校から高校時代の恩師の方々からのお手紙紹介の後、出席者全員から、二十歳を迎えての思いやふるさと梶原への思い、将来の夢などを「二十歳のメッセージ」としてお話しいただきました。

その一部を抜粋したものをご紹介いたします。

○加藤 慶治

岡山の4年制大学に通っていて、日々勉強に励んでいる。大学では、会計の勉強をしており、将

来、税理士になるため、簿記などを学んでいる。

○河野 雄太

16年間この町に住んで、自然が豊かな町だと感じている。今、高知市の会社で働いている。今後も頑張っていきたい。

○下元 彩葉

岡山の短期大学に進学し、今年卒業ですが、今は親に頼ってばかりだが、これからはもっと自立して生活していきたい。

○高橋 百花

まだやりたいことが見つからないので、今できることを頑張っていて、やりたいことが見つかったらちゃんとできるようにしたい。

○立道 美鈴

高知市の専門学校で学んでいる。ちゃんと資格を取って、今までお世話になった人達に恩返しできる理学療法士になろうと思っています。

○寺元 心美

大阪の大学に通っている。これからは、今ある出会いを大切にしたいです。

○戸梶 拓海

今、南国ミロクの梶原工場働いている。去年、よさこい祭りに参加し、自分の踊りを見せることができた。そこで、素敵な出会いもあり梶原で充実した生活もできている。

○戸田 心音

「SUPER BEAVER」の歌の歌詞にあるように、みんな1人で生きていけません。みんな支えられて生きていけるので、それを忘れないように、頑張っていきたいと思います。

○中岡 傑

東北の方で土木関係の仕事をしている。これから色々な場所で作って、何かしら地元で貢献できるようになればいいなと思っています。

○中越 透哉

これまで、保護者や周りの人に迷惑をかけて育ってきたが、就職したら、周りの人に少しでも恩返しできればと考えている。



記念品を受け取る山下碧海さん



謝辞を述べる中越透哉さん



恩師のメッセージ



講演会の様子



二十歳のメッセージの様子

○中越 椋

高知の専門学校に通っている。今年、卒業するが、自分の嫌なところから逃げないように頑張っていきます。

○中越 真理

これからもどんときも、前向きな考えと向上心を持って頑張りたい。自力本願で自分の力で成功して、人を頼りにしすぎないようにしたいと思う。

○長谷部 稜馬

今、愛媛県の自衛隊で働いている。たくさん厳しいことがあったが、今は何とか乗り越えている。これからも諦めずに折れずに頑張

ろうと思う。

○松田 杏実

高知市内の専門学校に通っている。1月末に国家試験があるので、合格して、4月から介護福祉士として働けるように頑張りたいと思う。

○森田 カヲル

高知の専門学校で機械系のことを学んでおり、今年の4月に就職する。自分が今ここにいるのも、今まで支えてくれた多くの人がいるので、感謝しながら、生きていきたい。

○森野 左菜代

兵庫県の大学に通っている。い

ろんな人に出会って、良いこともあるが、自分の悪いところも見えてきて日々努力しているので、出会いを大切にしながら、もっと成長していきたい。

○山下 碧海

高知県の大学に通っている。今は将来の夢とか考えていないが、大学の中で取れる学芸員の資格は取れるように頑張りたい。

○山本 雅人

東京の専門学校に通っている。自分の心にある、まだまだやれる気持ちを持って、今よりもっと成長して大きくなって榑原に戻ってきたい。向こうではしっかり名前

を広め、お仕事できるように頑張っていきたい。

○鈴木 龍王

榑原で過ごした時間は、自分の人生の中でとても重要な3年間だと思っっている。こんな大好きな地域で、大好きなみんなと一緒に貴重な機会をただけて本当に嬉しいです。

二十歳を迎えられたみなさん、おめでとうございました。コロナ禍で不安定な情勢下ではありますが、責任と自覚をもち、自分の夢に向かって焦らずに一步一步、進んでいってください。

生涯学習課

「ゆすはらジビエの里」による ジビエ学習

1月24日(火)、集落活動センター「ゆすはら西」ゆすはらジビエの里」の活動とジビエについて、梶原学園3年生が学びました。

「ゆすはらジビエの里」施設長の平脇慶一さんから、梶原町内でどれくらいシカやイノシシが捕獲されているかなど、話を聞き、実際の写真やジビエカー、鹿の毛皮や猪の牙に触れながら、ゆすはらジビエについて学習しました。生徒の皆さんからはたくさん質問や疑問が投げかけられ、興味津々の様子でした。

ゆすはらジビエの里は、「国産ジビエ認証」を取得している安心・安全なジビエを提供している施設です。梶原学園ではジビエカレーやジビエバーガーといったメニューで、ジビエを活用しています。平脇さんは「今後学校での食育を通じて、ジビエを活用いただければと思う」と話していました。

まちづくり推進課



鹿の骨に興味津々



ジビエカーの実物見学



学習の様子

コミュニティバス車両納車

梶原町では、令和4年10月からコミュニティバスの本格運行を開始しています。

この度、コミュニティバス用の車両2台が納車されました。乗車定員は9名で、乗り降りしやすいよう乗車口に電動ステップや手すりを設置されています。ラッピングのデザインは、雲の上の図書館内の天井からの木組「四又菱格子」をイメージし、ゴールドの華やかな車両となっています。

今後、小回りのきく7人乗りの車両も納入予定で、コミュニティバスが地域の移動手段として利用され、公共交通空白地域の解消を目指します。



梶原町コミュニティバスは、前日の午後4時までに電話での予約が必要な予約運行型のバスです。運行時間が決まっておりますので、予約の際に利用する日、利用する便、乗車場所、お名前、連絡先を運行事業者にお伝えください。

【四万川区】

運行区域：四万川区内
運行曜日：(火)～(金)（祝日を除く）
運行回数：1日4往復
利用料金：四万川区内100円
予約先：四万川交通ハイヤー
☎67・0527

【越知面区】

運行区域：越知面区内／町中心部
運行曜日：(火)～(金)（祝日を除く）
運行回数：1日4往復
利用料金：越知面区内100円
越知面／梶原200円
予約先：くるめハイヤー
☎65・0210

【太郎川・神在居・仲洞】

運行区域：太郎川・神在居・仲洞／町中心部
運行曜日：(火)～(金)（祝日を除く）
運行回数：1日5往復
利用料金：100円
予約先：くるめハイヤー
☎65・0210

【東向・上成・松谷】

運行区域：東向・上成・松谷／町中心部
運行曜日：(水)（祝日を除く）
運行回数：1日5往復
利用料金：200円
予約先：くるめハイヤー
☎65・0210

コミュニティバスの運行時間や利用方法など、ご不明な点などありましたら、総務課までお問い合わせください。
総務課



志手功会長との記念写真

梶原町老人クラブ連合会 優良老人クラブ表彰 受賞

令和4年11月22日(火)、高知県立ふくし交流プラザで行われた「第62回高知県老人クラブ大会」にて高知県老人クラブ連合会会長表彰(優良市町村老人クラブ連合会)を受賞しました。

この賞は、老人クラブの育成発展に功績のあったもの及び老人クラブ活動に積極的に協力したものに對し高知県老人クラブ連合会会長が表彰し、老人クラブの一層の発展を図ろうとするものです。

よさこいクラブ梶原(町老連)は、コロナ禍でも感染対策を行

い町内運動会や映画鑑賞会など新たな事業を展開させるなど活動を停滞させないよう努めた結果、令和元年度より会員が増加しています。女性部の運営する「にこにこ喫茶」は会員の集いの場になっていくことや、地域で気になる人への友愛訪問活動の功績が高く評価されました。

町老連は今年60周年を迎えます。今後も豊かで活力のある活動に皆様のご参加をお待ちしています。

【問合せ】

事務局 梶原町社会福祉協議会

☎65・1235

西村俊二氏 高知県スポーツ推進 委員功労者表彰受賞

12月3日(土)、令和4年度スポーツ推進委員功労者表彰式で西村俊二氏(川西路)が表彰され、過日、町長室において、吉田町長より表彰状が手渡されました。

この表彰は、高知県在住のスポーツ推進委員であり、地域においてスポーツの振興に顕著な功績のある方が受賞されます。

西村氏は、平成24年度より梶

原町スポーツ推進委員として、2期目からはスポーツ推進委員長として、梶原町のスポーツ推進に寄与いただいています。

また、町内バドミントンサークルの代表をしており、自ら指導者として活動しています。

また、同サークルは総合型地域スポーツクラブ「梶原雲の上スポーツクラブ」に所属しており、西村氏はクラブ立ち上げの際から運営委員として携わられ、町内スポーツ活動の中心的な存在として活躍されています。

今後も、梶原町の生涯スポーツの推進にお力を貸していただきたいと思っています。

生涯学習課



税に関する高校生作文 「須崎税務署長賞」受賞

将来を担う児童・生徒の皆さんに税金への関心及び理解を深めてもらうため、租税教育の一環として、税に関するテーマとした作品を募集し、梶原高校1年生の川上奏汰(かみわた)さんが「須崎税務署長賞」を受賞しました。

川上さんは、「税金への考え」と題し、わが国では社会保障関係費に最も多くの税金が使われているということ調べ、税の重要性についての理解を深めていました。また、外国との社会保障制度の違いにも触れ、今後わが国においてどのような税金の使われ方をしていくのかに注目し、納税者としての責任を果たしていきたいという思いを綴っていました。

川上さん、受賞おめでとうございませう。

総務課

第3回パラスポーツ 体験講習会開催

令和4年12月17日(土)、梶原体育館で、第3回パラスポーツ体験講習会を、前回大好評だったフライングディスクの種目で開催しました。

今回も高知県障害者フライングディスク協会より大石雅省先生、細川順子先生が来てくださいました。基本的な持ち方・投げ方の練習から始まり、自分の思った方向への投げ方の練習をしました。

最後は、本番さながらに、1人ずつ、参加者の皆さんが見守る中でディスクを投げるという体験をしました。目標は、体育



大人も子どもも真剣です！



目標に向けて！

生涯学習課 ☎65・1350

生涯学習課では、今後も、パラスポーツの振興を推進していきます。興味を持たれた方は、お気軽にお問い合わせください。

館の端に置いたディスクゴルフのゴールです。なんと、1名の方が見事ゴールに入れ大歓声があがりました。

大人も子どもも、真剣に、しかしながら同時に笑いの絶えない楽しい時間となりました。

もちろん、パラスポーツ競技としての力をつけることも大切ですが、スポーツに触れ、いろんな方と交流を持つことの楽しさ、大切さを再認識できた時間となりました。

太郎川公園旧雲の上のホテル レストラン跡地整備について

現在、旧雲の上のホテル・レストラン跡地において整備工事を実施しました。

計画見直しにより検討が進められている、ホテル・レストラン・道の駅を含めた拠点施設整備までの間、跡地を最大限活用するための整備であり、今後は、キャンプ場敷地として利用しながら、イベント等、様々な場面で活用していきたいと考えていますので、皆さまのご理解ご協力をよろしく願います。

産業振興課



旧雲の上のホテル・レストラン跡地整備状況(現況)

川上教育委員の後任に 森山氏を選任

12月議会において、昨年7月31日をもって退任された川上めぐみ教育委員の後任として、梶原町上成の森山美幸氏の選任案が上程され、満場一致で可決されました。

任期は1月1日から4年間です。

【森山美幸氏の略歴】

徳島文理大学短期大学部卒。卒業後、梶原町へ帰町。当時の「梶原町農業協同組合」へ就職。以降、「津野山農業協同組合」「高知県農業協同組合」と組合の名前が代わる中、統括本部監事室長などの要職を歴任し、令和4年3月退職。





株式会社高知銀行様は、「熱意」「調和」「誠実」を理念として掲げており、地域とともに歩む金融機関としてサービスを提供している銀行です。

株式会社高知銀行
寄附日 令和4年11月14日
寄附取組 脱炭素社会の実現を目指す事業、ならびにゆすはらキャンパスにおける学ぶ機会を創出する事業

昨年12月12日(月)に、梶原町役場において目録並びに感謝状贈呈式を行いました。

「企業版ふるさと納税」制度を活用した寄附をいただきました

企業版ふるさと納税制度により、次の企業から梶原町に寄附をいただきました。心からお礼申し上げます。



伊藤忠エネクス株式会社

寄附日 令和5年1月6日
寄附取組 梶原令和の森林づくり事業

昨年度に引き続き、今年度もご寄附をいただきました。伊藤忠エネクス株式会社様は、「社会とくらしのパートナー」として、全国各地の地域に根ざし、石油製品、LPガスを中心とした私たちの生活に欠かせないエネルギーを届けている会社です。

株式会社四国銀行

寄附日 令和5年1月24日
寄附取組 脱炭素社会の実現を目指す事業、ならびにゆすはらキャンパスにおける学ぶ機会を創出する事業

株式会社四国銀行様は、「地域の皆さまに最も愛され、親しまれ、信頼される銀行」をモットーに、地域社会に貢献することを使命として掲げる、地域と共に歩む銀行です。

企業版ふるさと納税とは、自治体を取り組む地方創生事業に、企業が寄附をとおして応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。

梶原町では、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付ける事業へ貢献していただける企業の皆様をお待ちしております。

【問合せ先】
まちづくり推進課

☎ 65・1111



高知県立高知城歴史博物館

催し物のお知らせ

【企画展】山内家のおひなさま

土佐藩主山内家伝来のひな人形とひな道具を展示。大名家ならではの気品あふれる調度品をお楽しみください。国宝「高野切」も特別公開します。(期間限定) 展示観覧者にはお一人様1枚、おひなさま立版古(ペーパークラフト)をプレゼント。

【開催期間】 令和5年1月1日(日・祝)～3月6日(月)

【観覧料】 700円(常設展も含む)

【時間】 ※高校生以下、県内65歳以上の方は無料、高知城とのセット券900円
※3/4・3/5(城博の日) はすべての方が無料
9時～18時 日曜のみ8時00分～18時00分
※展示室への入室は閉館30分前まで



生活援助従事者研修を開催



本町では、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護人材の育成及び永続的な人材確保を図ることを目的に、平成23年度より「ホームヘルパー養成事業」を実施しております。

令和4年度は「生活援助従事者研修」を梶原町社会福祉協議会に実施いただき、令和4年11月7日から約1ヶ月の日程で、6名が受講しました。

「生活援助従事者研修」は生活援助に特化し、洗濯や掃除、調理の援助をする人材を育成する研修となっています。身体介護の部分は学ぶことができませんが、生活援助について、短期間で研修を受講することができま

す。本研修の講師の方々は、専門的なお話の中にも自身の経験を織り交ぜながら、分かりやすく丁寧な講義を行っていただき、受講生も真剣な表情で受講して

いました。

それぞれが目的を持ち熱心に受講し、受講生全員が全日程を修了しました。

受講生からは、「家族や自身に介護が必要になった時のための心構えが少しできた」「介護の現場の様子がよく分かった」「上位の研修も受けてみたい」といった声をいただきました。

今回は「生活援助従事者研修」を実施しましたが、ホームヘルパー養成事業では、今後「介護職員初任者研修」についても実施していく予定です。対象者は、梶原高校生もしくは梶原町、津野町に住所を有し、介護の仕事に興味のある方で、少しでも受講しやすい環境となるよう町が支援しています。また、身近な方やご自身に介護が必要になるまでにどういったことを備えればよいのか等、介護を身近に感じていただく機会にしていきたいと考えております。

今後も本事業を継続していくことで、1人でも多くの方に興味を持っていただき、介護人材の育成と人材確保に向けて取り組んでいきますのでよろしくお

願い致します。

【問合せ】

保健福祉課

介護保険係

☎ 65・1170



車いすを用いての実習



講義内容に熱心に耳を傾けます



受講生の皆さん



体の動きのしくみを体感

あなたのこころ、お元気ですか？



春は出会いと別れの季節です。新しい環境に身を置く人も多く、楽しみでありながら、不安を抱いている方もいるのではないでしょう。

また、この春でWithコロナ生活も4年目に入ります。コロナ禍での制限が多く、見通しの立たない生活によって、知らず知らずのうちに皆さんは身体的にも精神的にも何らかの影響を受けています。まだまだコロナへの不安が残る中、進学や就職で新しい環境に移る方も多いこの時期に、こころの健康管理について少し考えてみましょう。

● こころの SOS チェックリスト

まずは、あなたやあなたの周りの人のこころの状態を確認してみましょう。下の図①にある項目に当てはまるものがある方は、もしかするとそれはこころの SOS サインかもしれません。意外なのは、頭痛や肩こり、下痢、便秘といった体の不調もこころの SOS サインの可能性があるということです。これらの不調が一時的ではなく、長期間治らない場合は、こころの不調からきているかもしれません。一度主治医や専門機関に相談してみましょう。

図①

こころ	体	行動
<ul style="list-style-type: none"> ・ わけもなくイライラする ・ 目の前のことに集中できない ・ ゆうつな気分が続いている ・ 何もやる気が起きない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 眠れない ・ 食欲が減った、または増えた ・ 頭痛や肩こりがある ・ 下痢や便秘が続く 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好きだったことを楽しめない ・ 身だしなみに気にしなくなった ・ 仕事や勉強でミスが増えた ・ 飲酒・タバコの量が増えた

● 春はストレスを受けやすい

4月はこころの乱れが起きやすい時期と言われています。寒い冬から暖かい春になり、こころも温かく穏やかに：とはいかず、この気温の変化や朝晩の気温差は私たちの体に負担をかけます。人間には体温を一定に保とうとする機能が備わっていますが、その体温調節を頑張ると体はとて疲れます。更に新しい環境などでこころの疲労が加わると、体もこころもストレスを受ける状態に。体やこころのバランスを保つ自律神経が乱れ、こころの乱れが起きてしまいます。

このように、「春はこころの乱れが起こりやすい」ということを知っておくのも、過度なストレスを予防する方法の1つです。

● 自分と身近な誰かを守ろう

春のこころの乱れは、多くの場合、気温が安定したり、新しい環境に慣れてきたりしていく中で落ち着いてきますが、その状態が長く続いてしまう場合もあります。それは決してその方のこころの弱さが原因ではありません。そして、そのこころを軽くできるのは身近にいる家族や友人かもしれません。上の図①のような変化が身近な人に見られていたら、まずはぜひ声をかけてあげてください。そしてゆっくり、話を聞いてあげてください。

● 悩みは誰かに「はなす」

「話す」ことは同時に「離す」ことでも「放す」ことでもあります。自分の中に閉じ込めていた思いを少し自分から離してみ、誰かと共有することで、自分だけでは見えなかったことに気づくかもしれません。また、モヤモヤと抱えていたものを一旦手放すことでこころが軽くなるかもしれません。1人で解決が難しい悩みや困りごとがある方はまず、「誰かに話す」という方法を試してみてください。

● 悩みを抱えている人が傍にいたら

「誰かに話す」のに勇気が必要な方もいます。あなたの周りに気になる人がいたら、左の図②を参考に、「あなたのことを心配している」という温かな気持ちを伝えてみてください。そして、相手が話し始めてくれたら、これまでの苦労をねぎらい、傾聴しましょう。この時に、相手は答えや解決策を求めているとは限りません。まずはゆっくりと話を聞き、相手を否定したり、一般論や自分の考えを押し付けられないようにしましょう。

図②



● 最後に

こころのモヤモヤを抱えた方も、相談を受けた方も、一人で抱え込まないようしましょう。保健福祉課では、随時相談以外にも、心理カウンセラーによる相談日を設けていますので、困った時はお気軽にご相談ください。

保健福祉課 ☎ 65・1170



栲原こども園だより



糸引きゴマ



花ゴマ

年明けから各クラスそれぞれ年齢にあったコマ（手回しゴマ、糸引きゴマなど）遊びを楽しんできました。1月25日（水）には幼児組3クラスでコマ回し大会をしました。

コマ回し大会



手のせ



2月3日（金）の節分の日にもむけて、各クラス鬼のお面を作りました。お面をかぶって「おにはくそと！ふくはくうち！」の掛け声とともに、元気に豆をまきました。

節分の豆まきを したよ！



鬼の登場に驚いた子どもや泣き出してしまいう子どももいましたが、「おにはそと！」と豆をまいて、鬼を追い払い、無病息災を願い、福を呼び込みました！
最後にお福さんが春のお花と笑顔を運んで来てくれました♪

商工会青年部・女性部より節分の豆とお菓子をいただきました。ありがとうございました。



一部の記事はホームページでも見ることができます。

<http://www.yusuharakodomo.jp/>



人権教育参観日

1月21日(土)、梶原学園人権参観日が行われました。それぞれのクラスの題材名は次の通りです。

- 1年： 小さなふとん
- 2年： よかったよ
- 3年： とつてもいいね、わたしらしさ、あなたらしさ
- 4年： みんなながって、みんないい
- 5年： いろいろな性について知ろう
- 6年： あつて良い違いと、あつてはならない違い
- 7年： HIV陽性者への偏見・差別について考える
- 8年： 災害と人権
- 9年： ちがいのちがい

梶原学園では、各先生が人権教育の授業をより良いものとするため、お互いに見せ合い、意見交換を行っています。この日も、保護者にまじって、教員も授業を参観しました。授業後には、良かった点や課題などを記



入した用紙を見ながら協議をしました。
正しい知識、正しい人権感覚を、児童生徒も大人もみんなが持ち、より良い梶原学園を、より良い社会を作っていきます。

PTA人権教育講演会

1月21日(土)、5、9年生と保護者を対象に、梶原学園PTA企画研修部の司会進行で、人権教育講演会が開催されました。「性別って2つだけ？」と題して、山口颯一さんが話をしてくれました。山口さんは自身の性別と自認する性が違うトランスジェンダーとして悩んできた10代、成人後に両親の理解もあつて性転換し、今に至る人生を分かりやすく語り、「知る事、違いを認める事が大切」と言って講話を



締めくくりました。
質問コーナーでは、児童から「トイレは男性女性どっちに行きますか？」などと聞かれ、今は、性転換後の性である「男子トイレに行きます」と答えています。また、講話終了後には、LGBTQの支援を表す虹色の小さい旗が、生徒会長に贈られました。

租税教室

1月20日(金)、9年生を対象に租税教室が行われました。講師は梶原町役場税務係の魚濱さんです。授業の初めに100万円の札束を見せられた生徒たちからは、どよめきがありました。「みほん」であることを告げられると、少しがっかりした様子が見られました。社会は税金によって支えられていることや、税金がどのような使われ方をしているかなど、税を視点に社会の仕組みを知る一時間となりました。授業の最後には、ジュラルミンケースに入った1億円(みほん)を代表の生徒が持ち、「重くいい」と感想を言っていました。



一部の記事はホームページでも見ることができます。

<http://www.yusunharagakuen.jp/>





桒高だより

総合的な探求の時間報告会

桒高のカリキュラムは、週2時間を「総合的な探求の時間」とし、主体的で体験的な地域探求学習を実施しています。特徴的なのが学年の枠を超えた縦割りグループ。昨年12月14日（水）に開いた報告会では、4月からそれぞれのテーマ（産業、環境・観光、文化、PR）で活動した成果を、学年別テーマとともに報告しました。

2学期球技大会

12月16日（金）、今回の球技大会は、桒原体育館と桒高体育館の2会場で行いました。2会場に分



国内留学（語学研修）

けたことで生徒の出場頻度が高くなり、より多くの熱戦が繰り広げられました。実際の競技参加や応援等を通じて、互いの親睦がより深まったことでしょう。

町の海外留学支援事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ここ3年間行われていません。その代替事業として計画・実施されたのが、国内留学です。訪問先は、長崎県佐世保市にあるハウステンボス。12月24日～28日、ネイティブの在日アメリカ人講師による桒高生オリジナル研修プログラムを、3名の生徒が受講しました。3日間にわたる英語漬けの生活は、英語力向上のきっかけになったようです。この国内留学の様子は、1月10日の3学期始

業式後に、参加生徒から全校生徒に報告されました。

大学入学共通テスト

1月14日～15日、全国の高校生50万人余りが受験する大学入学共通テストが、各地で行われました。

本校からは3年生の13名が、高知大学朝倉キャンパスで受験しました。多くの受験生に圧倒されていたようですが、無事終了しました。良い結果に結びつくことを祈っています。

修学旅行

1月17日～21日、2年生を対象に修学旅行が実施されました。実に3年ぶりです。新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されましたが、予定通りに出発し、旅行中は体調を崩す生徒もなく天候にも



恵まりました。

旅行初日は移動日です。空路で羽田へ、そしてバスで長野県菅平高原へ。2日目・3日目はスキー研修です。快晴のもと、インストラクターの指導により班別にレッスンが行われました。転倒したり、動けなくなったりしながらも、驚くほど上達してしまいました。4日目は東京ディズニーランドです。余裕ある日程だったため、思い思いにアトラクションを楽しみました。最終日は、お台場での探索の後、空路で帰路につきました。

生徒の行いと感染対策等の心掛けがよかったおかげで、素晴らしい旅行となりました。参加した2年生にとっては、高校時代の思い出の1ページとなったことでしょう。

雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL ☎0889-65-1900

皆で見守り、理解しあおう

認知症カフェを知っていますか？



認知症に関する資料も充実しています

誰もがかかりうる認知症。脳の神経細胞の働きが徐々に低下し、記憶や判断力に支障が出てきます。家庭の事情や本人の認識により、一括りに対応することが難しい症状でもあります。町民団体と保健福祉課では、当事者やご家族の不安を和らげ、周囲の理解を深めるために「認知症カフェ」を共催しています。先日は図書館で開催され、和やかな雰囲気のもとレクチャーを受けたり懇談を行いました。支え合いの輪が広がる一助になればと思います。

あの頃の映画を、今の目線で

「青い山脈」が鮮明な映像で蘇る



図書館ではどの世代の皆さんにも楽しんでいただけるよう、映画上映イベントを定期的で開催しています。今回は今から60年前、1963年に発表された「青い山脈」を、現在の技術でリマスター(修復・補正)した版で上映しました。かつてはフィルムを自転車に積んだ映画屋さんが町内各所の集会所やゆすはら座を回って、映画を上映していたそうです。懐かしい時代の作品に改めて触れ、参加者の皆さんはゆっくりと映画を楽しんでいました。

地域に根付く、小さなアート

『はじめまして農民美術』

監修:宮村真一、小笠原正

長野県上田市を拠点として、農民美術練習所で作られた民芸品の数々。わずか15年の間に誕生した魅力あふれる木片(こっば)人形・木彫風俗人形を中心に、様々な作品をその成り立ちとともに紹介する。



ご紹介した本が貸出中の際は、ご予約を承ります。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

図書館で解決、困りごとあれこれ

『相続と遺言のことならこの1冊』

監修:國部徹

基本知識から紛争の解決法や予防まで、スムーズに相続するためのポイントを丁寧に解説。相続のしくみがわかる図解を豊富に掲載し、初めて学ぶ人でも安心。手続き図&書式見本も多数収載。



3月の休館日

7、14、22、28、31

対策実施中



- ・入退館時の手指消毒をお願いします
 - ・滞在時間は短めに
 - ・マスクの着用をお願いします (小学生以上)
- 厚生労働省の発表を受け、未就学児のマスクの着用を一律には求めない方針となりました。



マイナンバーカードで 年金手続きが便利になります

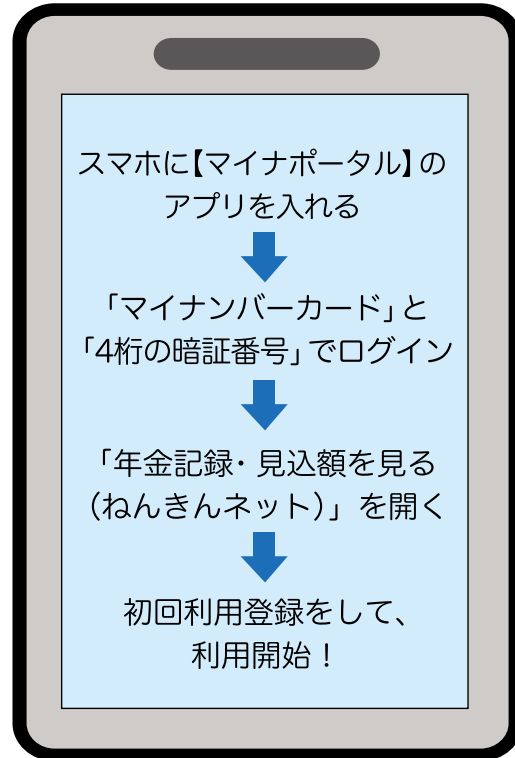
♪ 各種手続きがネットでできます！

- 年金記録の確認
- 将来の年金見込額の試算
- 電子版「ねんきん定期便」の閲覧
- 各種通知書の確認

- 国民年金第 1 号被保険者加入の届出
- 国民年金保険料の免除、支払猶予申請
- 国民年金保険料の学生納付特例申請
など



こちらの QR コードでも
アクセスできます



問合せ先

詳しくは、**日本年金機構のホームページ**をご覧くださいか
総務課住民係 (☎65-1111) までお問い合わせ下さい。

年次有給休暇を活用して、
家族と過ごしたり
地域の活動に参加したり、
新しい働き方・休み方をはじめましょう

年次有給休暇を活用して
家族の時間を
つくりましょう



年次有給休暇を活用して 高知県の魅力に触れよう

～地域が一体となって年次有給休暇の
取得促進に取り組みましょう～

問合せ

高知労働局雇用環境・均等室
電話：088-885-6041

税務署からの確定申告会場についてのお知らせ



開設期間 令和5年2月16日(木)～3月15日(水) (土・日・祝日を除く)

※上記の期間より前は、確定申告会場を設置しておりませんのでご注意ください。ただし、作成済みの申告書等の提出は受け付けております。なお、贈与税や土地などの譲渡所得について申告相談を希望される方は、担当職員が従事していないため、3月1日(水)以降にお越しください。

受付時間等 午前8時30分～午後4時 (相談開始は午前9時から)

ただし、入場整理券の配付状況により、午後4時前であっても受付を終了させていただく場合があります。



感染症対策のお知らせ

- 会場内の混雑緩和のため確定申告会場への入場には、入場できる時間枠が指定された「入場整理券」が必要です (作成済申告書の提出のみであれば不要です)。
- 入場時の検温を実施しています。37.5 度以上の発熱がある場合、咳などの風邪の症状がある場合、検温にご協力いただけない場合など感染防止の観点から適切でないと判断したときは入場をお断りさせていただきます。
- 発熱等の症状がある方や体調のすぐれない方は、無理をせずに、後日あらためてご来場ください。
- 会場ではマスクを常時着用していただき、会場入口等での手指消毒をお願いします。
- 会場には、申告される方おひとりでお越しください。介助を要する等の理由により複数名でお越しになる場合においても、必要最小限の人数でお越しください。

問合せ先 須崎税務署 ☎ 0889-42-2355

スポーツ安全保険

文化活動も
加入出来ます

対象となる事故 団体活動中の事故／往復中の事故

保険期間 令和5年4月1日の午前0時から令和6年3月31日午後12時まで

4名以上の団体・グループで
ご加入ください

スポあんネット

パソコン・スマホで
だれでも、かんたん
便利に使いやすい!



でインターネット
で簡単お手続き

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページを
ご覧ください。

スポーツ安全保険

検索

公益財団法人 スポーツ安全協会

3月の行事予定

- 1日(水) アメゴ解禁
春の火災予防運動(7日まで)
17日(金) 栲原高校修了式
20日(月) 栲原町交通安全の日
11日(土) 大越粗大ゴミ受入日・環境整備デー
22日(水) 栲原学園6年生卒業証書授与式
15日(水) 所得申告受付終了
行政相談
24日(金) 栲原こども園卒園式
栲原学園修了式
27日(月) 栲原高校合格者登校日

3月の保健福祉課行事予定

- 1日(水) 松原サテライト
3日(金) 初瀬いきいき
6日(月) げらげら家族会
7日(火) 小児健診
8日(水) あゆみの会
9日(木) 越知面デイ
東区宅老
9日(木) 四万川宅老
16日(木) 四万川いきいき
17日(金) 東区いきいき
20日(月) 西区いきいき
献血
23日(木) 四万川宅老



毎週月曜日 育児サークル(図書館内カンガルーのおなか)午前10時～
毎週水曜日 予防接種(四種混合、麻疹・風疹【MR】、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)
月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)
ゆすっこ相談センター相談日 14日(火)、28日(火)
川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日) 13日(月)、14日(火)



※行事予定は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、今後変更となる可能性がありますのでご了承ください。

- 魚田松 植松 和田 中津 五十嵐 田中 渡辺 小笠原 塚本 赤堀 大和 木村 内田 曾根 岡本 小澤 田代 平手 黒岩 相澤 新国 粕谷 中村 仲元
明一男 理香子 憲樹 正人 美順 三子 達子 諒平 昌志 和志 眞也 美智 富奈 加奈 真紀 隆広 禎智 太郎 哉仁 恒平

【ふるさとづくり寄付金】
他匿名希望の方 2名
【広報へのご寄付】
お礼とお報告申し上げます。
このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とお報告申し上げます。

- 他匿名希望の方 1名
立道 善行 様(飯母)
岡田 吉弘 様(上本村)
村田 徳治 様(中平)
川上 満恵 様(川西路)
田尾 恭子 様(東町)
中越 洋子 様(永野)
西添 利祝 様(宮野々)
竹田 彰一 様(広野)
浅野 祐一 様(高知市)
他匿名希望の方 214名
西岡宗一郎 様(徳島県)
妻鳥 孝行 様(愛媛県)
小寺 信 様(愛媛県)
荒巻 綾太 様(佐賀県)
村山 綾子 様(沖縄県)
他匿名希望の方 214名



杉の子俳句会

山里に日当りながら雪が舞う

下元 廣幸

初場所やああつと大声出しており

久岡 智子

無手無冠を囲む厨の女正月

明神伊佐子

大屋根に風が描きたる雪模様

氏原 陽子

一湾を船の出て行く実朝忌

掛橋 初子

浮鴨や源流ながれに身をまかせ

影浦 鉄心

園の庭耳から解けて雪うさぎ

大崎みなと

山頂を染めて輝く初あかね

西村 幸枝

この地球を包み傷つく初御空

川田 早苗

待ってました笑顔弾ける初稽古

内野 純子

初富士や箱根駅伝応援す

西村 蓉子

寒月や名もなき山の空を行く

野中 胤雄

柚子の木俳句会

木の枝に上着を預け歩き初め

西村由利子

あかぎれの母の注連縄二日越し

西森 誠子

産声をあげて駿馬の四つんばい

中平 忠雄

初音聴き龍馬も峠越えたのか

中越 郁子

藁草履関にたちたる小正月

渡辺 瑞枝

よくもまあ八十路を生きてこれたもの

中越 秋子

人日や柏手を打つ夫のいて

吉田 敬子

不自由は自由の証キウ冬

中越 昌一

男は皆股炙りたる焚火かな

広瀬 卓雄

短歌

故郷を離れて早くも五十年

心は故郷に残したままで

松本 君恵 (鬼北町)

川柳

看板に 偽りなきは 救急隊

河野 哲夫

おめでた

住所	出生者氏名	性別	出生年月日	保護者
太郎川	寺元 にこ	女	R4.12.7	寺元 航基
大蔵谷	みあ 笛木 心碧	女	R4.12.22	笛木 保志

おくやみ

住所	死亡者名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
宮野々	西添 悦子	女	R4.12.1	90	西添利祝
永野	中越 俊一	男	R4.12.12	77	本人
上本村	岡田 安恵	女	R4.12.19	82	岡田吉弘
東町	伊藤 一祐	男	R4.12.19	92	本人
上本村	岡田 慰子	女	R4.12.24	98	本人

住所	死亡者名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
中平	村田 尚代	女	R4.12.30	88	本人
北町	秀平 隆靖	男	R5.1.1	80	本人
川口	立道 昌三	男	R5.1.2	81	本人
仲洞	溝添 定盛	男	R5.1.3	91	本人
宮野々	古井 茂子	女	R5.1.26	94	本人
宮野々	上田 玉子	女	R5.1.29	96	本人
太田戸	白石 繁美	女	R5.1.30	94	本人
上成	中山 重子	女	R5.1.30	93	中山直明

※個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています



ゆすはら地域おこし協力隊 「山の暮らしを満喫！」

ゆすはら地域おこし協力隊として、梶原に移住してきた長谷川夏輝さん。平日は林業、休日はアウトドアと、山々に囲まれた梶原で、新しい生活スタイルを楽しんでいます！



ゆすはら地域おこし協力隊
はせがわ なつき
長谷川 夏輝さん

梶原での生活に慣れて

私は、昨年5月に神奈川県から移住してきました。きっかけは、移住先を探している中で参加した梶原町主催の森林づくり体験ツアーです。

ツアーで梶原に足を踏み入れてすぐに、目の前に広がる美しい山々と洗練された町並みに心打たれました。ツアーの中では、林業現場の視察やチェーンソーの体験があり、林業の迫力や面白さを肌で感じる事ができました。地域の方との交流会では温かく迎えていただき、梶原で山暮らしを楽しみながら、林業の担い手として活躍していきたいと考えてようになりました。

林業の技術習得・情報発信に挑戦！

現在、私は地域おこし協力隊として、町内の林業関係者の下、林業技術の習得に励んでいます。



技術習得のため日々研修！

す。その中でも、特に伐倒と植林の技術向上に力を入れていきます。また、前職の経験を活かしながら、林業や森林の活用に関する町内向け広報誌「リモリマンズリー」の作成に積極的に取り組んでいます。今は、狩猟やジビエ活用、チェーンソーアート、木工にも興味があります。林業技術の基礎はしっかりと学びながら、新たな分野の知見を広げることにもチャレンジしていきたいです。

山の暮らしも林業も楽しみたい

梶原に移住して、もう少しで1年となり、ようやく新しい生活に慣れてきました。山の現場へ行くことが多いため、お昼はお弁当を作って持つていくこと



何事も楽しみながら挑戦

が習慣になりました。また、以前から山暮らしに興味があり、学生の時にワンダーフォーゲル同好会に所属していたこともあり、休日はバーベキュー等、自然の下でアウトドアを楽しんでいます。公私ともに山の中にいるという感じです。将来は、農業をしたり、ヤギやニワトリを飼ったりと、さらに山暮らしの幅を広げていきたいです。林業の担い手としては、新しい林業の形を実現できるような団体を協力隊の仲間と一緒に作り上げていきたいと考えています。林業の世界に入ったところで、技術も経験もまだまだ未熟ですが、林業の明るい未来を自分の力で切り拓いていくという思いをもって、梶原で林業を学んでいきたいと思っています。

森林の文化創造推進課

編集後記

犬と毎日2回、町内を散歩しています。中型犬には、しっかりと運動させることが必要ですから、朝夕合わせて1時間半ほどを費やします。もちろん、犬に落とす物をさせないために、袋を持ち歩いています。

犬と歩くと、いつも車で通過する場所の違う様子が見えてきます。意外にたくさん、ゴミが落ちていたのにも分かります。お菓子の個包装の袋やコンビニおにぎりの包装のプラスチックごみ、昔から定番のタバコの吸い殻、空ペットボトルや缶：これらを拾うのに、台所で取っていた再利用のビニール袋が活躍します。犬に使うよりもこちらのほうが多いくらいです。

正直なところ、わざと捨てたゴミならその人にバチが当たれ、と思うこともあります。が、無理なく、できる範囲で回収しています。

特にゴミが多いのは、上にキャンプ場がある道沿いや、川の流れが淀んでいるところ。プラスチックごみが劣化して崩れかけているものも。こうやって高いところから低いところへ、また水に流されて川から海へ出ていき、魚や鳥、海の哺乳類に被害を与えているのだと実感します。

ゴミが落ちているところには、さらにポイ捨てがされやすいという研究もあると聞きます。あなたもポケットにビニール袋を忍ばせて、見かけたゴミをそっと拾ってみませんか。

(広報編集委員会)